

## 令和 5 年度 施策評価表

施策	1502	若者や高齢者の就業支援	施策担当部	産業振興部	部長	浦山 優
			施策担当課	商工振興課	課長	松尾 直紀
施策の方針	若者の地元での就労を促すとともに、高齢者の就業機会の確保を図るなど、多様な世代の就業支援に取り組む。					
関連するSDGsのゴール						

### 【DO（実施）】

#### 後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市内高校卒業者の市内企業への就職率	%	16.5	17.2 20.1	17.9 17.0	18.6	19.3	20.0	95.0%	85.0%
② シルバー人材センター会員の就業実人員数	人/年	707	749 690	771 708	794	817	841	91.8%	84.2%
③									
④									
⑤									

#### 施策達成状況の説明

- ①市内高卒者の市内企業への就職率は、コロナ禍以前のように県外就職希望の生徒が増えたことから、昨年度より3.1%減少し、目標値を下回る結果となった。なお、市が実施している「市内企業説明会」については、天候不良のため令和4年度は中止とした。
- ②シルバー人材センターの就業実人員数については、目標値は下回ったものの、令和元年度実績（707人）を上回るなど、新型コロナウイルス感染症以前の水準に戻りつつある。

#### 施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	22,195	20,435	20,925	
	国庫支出金	1,262	1,262	1,500	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,058	977	884	
	一般財源	18,875	18,196	18,541	
	人件費	901	3,571	—	
フルコスト	23,096	24,006	—		

#### 施策の概要（細施策）

150201	若者の就業支援	市内の高校卒業者の地元企業への就職を支援するため、地域や関係機関等と連携し、インターンシップや職場体験活動等の充実を図ります。 また、キャリア教育の一環として、高校生等を対象に「市内企業説明会」を開催します。
150202	高齢者の就業支援	高齢者の能力の積極的な活用や就業機会の確保など、高齢者の活躍の場を創出するため、シルバー人材センターによる人材育成や情報発信のほか、新たな就業分野の開拓などを積極的に促進します。 また、新たな事業分野への進出や雇用環境の整備など、高齢者を積極的に活用する企業を支援する国の制度等の周知に努めながら、高齢者の就業機会の確保を図ります。

**【CHECK（評価）施策担当部長】**

**施策を達成する上での問題点・課題**

令和5年度の市内企業説明会は7月14日（金）に開催予定としており、開催に当たっては、参加高校や出展事業者の意見も踏まえながら、高校生と企業それぞれにとって実のある説明会となるよう進めていく必要がある。  
 令和4年度のシルバー人材センターの会員数は県内2位、受注件数は県内1位であった。定年延長が行われていく中、これまで以上に新規会員の獲得及び受注件数の増加を図っていく必要がある。引き続き、高齢者が活躍できるよう、補助金を活用したサポートやシルバー人材センターの周知等を行っていく。また、会員数の増加にあわせ、事務所・作業所について移転も含め検討する必要がある。

**【ACTION（改善・改革）】**

**上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方**

市内企業説明会について、令和5年度は、参加者数、出展企業数共に過去最高の数値であった。本事業は、中小企業振興会議からの意見をもとに開始した事業であり、今年度は見直しを行っていく予定である。会議からの意見、参加者及び出展企業からの意見を総合的に判断しながら、今後の事業の充実を図っていく必要がある。  
 高齢者の活躍の場であるシルバー人材センターについては、会員数及び受注件数の増加のため、ニーズの把握と補助金を活用したサポートを引き続き行っていく必要がある。また、本年10月から開始するインボイス制度の対応についてもセンターと連携をとりながら、今後の動きを注視していく必要がある。

**令和6年度新規事業**

	事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	